

取材手帖

東北醬油(株)

(秋田県大仙市)

には昨年から昼
寝の時間があ

る。スペインや

イタリアなどの

「シエスタ」は

よく知られているが日本

で見かけるのは、工事現

場や運転に疲れをとるパ

ーキングエリアなどでの

昼寝。会社組織で昼寝と

なるかどうか。

「最初は、そんなせい

たくなこといいのでしょ
うかといつてなかなか落

ち着かな

かったよ

うだが、

今は馴れ

ダラ休憩時間の延長で午

後の仕事に入っていった

ら30分なんかはあつとい

う間」。昼休みは正午か

ら1時半まで。業務に支

障どころか、朝が2回来

昼寝あとの戦略冴えて 佐竹社長



てきた」と提唱者の佐竹

宏明社長(写真)。工場

の社員は毛布と枕を持参

してという徹底ぶり。「昼

寝の30分は3時間にも相

当し、効果がある。ダラ

るようで爽やかに仕事に

取組めるといふ社員が増

えているとのこと。

同社は東北を代表する

つゆメーカー。看板商品

のつゆ「味どじろ」の里

が11億円、白つゆの「か
くし味」が1億円という
売上げを誇り、地元秋田
県や隣の山形県でのシェ
アは高い。

ただ大手メーカーの攻

勢が年々強まり、危機感

も高まってきた。そんな

中で限られた時間ではあ

るが、昼寝をとってリフ

レッシュ、迎え撃つ戦略

を練るのはいいことだよ

うだ。

(三沢篤)